

iPad

9:45 AM

100%

iPad の自宅における活用ルール

1. iPad は、家庭学習で使用する学習道具です。お子さんの学習や学校との連絡手段として活用します。学習や連絡手段以外の目的で使うことがないように注意してください。
2. 家庭での使用時間をお子さんと保護者で話し合ってしっかりと決めましょう。夜遅い時間や朝早すぎる時間での使用は健康を損ないます！特に、長時間、使用することがないようにして、就寝前の使用を控えさせましょう。
3. iPad は、原則として学校で充電します。ただし、家庭で充電する必要がある場合は、自宅の充電器で充電してかまいません。長期休業中などで、自宅に充電器がない家庭には、学校の充電器を貸し出します。
4. 自宅から iPad でインターネットを閲覧する際に、児童・生徒が有害なサイトに入れないよう Web 閲覧制限をかけています。ただし、学習目的以外で使っていないか日頃から保護者の方も確認をしてください。
5. 自宅に Wi-Fi 環境があるお子さんは、持ち帰った端末で自宅の Wi-Fi 通信環境を活用してください。
6. 学校の iPad 活用のルールを守るようにしてください。

iPad に関するお問い合わせ(ヘルプデスク)

iPad の操作方法についてわからなくなったときや故障したかなと思ったときは、以下の連絡先にお問い合わせください。問い合わせ受付時に、PIN 番号が求められます。PIN 番号は学校から保護者にお知らせします。

【日本語による問合せ先: Apple care ヘルプデスク】

電話 0120-99-6477 平日(月曜日から金曜日)9時~18時

【英語による問合せ先: グローバルサポート受付センター】

電話 0120-92-4485 24時間対応



港区教育委員会学校教育部では、Twitter を開設しています。港区の学校教育の最新情報をお伝えしていますので、フォローをお願いします。 https://twitter.com/minato_gakkou?s=12



港区教育委員会事務局学校教育部教育人事企画課教育指導担当



1人1台のタブレット端末を活用した新たな学び

港区教育委員会では、GIGAスクール構想の実現に向け、区立小中学校に在籍するすべての児童・生徒に1人1台のタブレット端末を配備しました。今後、このタブレット端末でクラウド環境を活用した様々な取組を推進していきます。

タブレット端末は、学校だけでなく自宅などにも持ち帰ることで、児童・生徒が切れ目なく学習に取り組む環境を整備するとともに、家庭と学校との新たなつながり方を創り出していきます。

GIGA(Global and Innovation Gateway for All)スクール構想とは…

1人1台の端末と、通信ネットワークを一体的に整備することで、子どもたち一人ひとりの資質・能力をより効果的に育成できる教育 ICT 環境を実現していく構想。

港区教育委員会



学校での学びが変わる！

01



個別学習の充実

iPad で先生の板書を写真で記録したり、自分の学習記録をクラウドに保存したりすることによって、iPad がノートの役割を果たします。また、児童・生徒一人ひとりの学習の定着度に応じた課題を提供することができるようになります。

02



協働学習の充実

クラウド上にある学習支援ツールなどを活用して、学級の仲間とお互いの考えを発表し合うこともスムーズにできるようになります。自己表現が得意な子もそうでない子も、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりして、学習をまとめていくことができます。

03



探究的な学習の推進

お子さんが自分でインターネットを活用して、関心のあることを調べていくことも簡単にできるようになります。また、アプリケーションなどを活用したプログラミング学習に取り組むなど、自分で課題を探究する学習に取り組むことができるようになります。

04



デジタル教科書の活用

iPad ではデジタル教科書を活用することができます。デジタル教科書には様々な機能があります。例えば、教科書に埋め込まれた教材動画を活用して学習効果を高めることができます。また、教科書の読み上げ機能によるお手本を参考にして、音読の練習をすることができます。

05



教員の授業改善

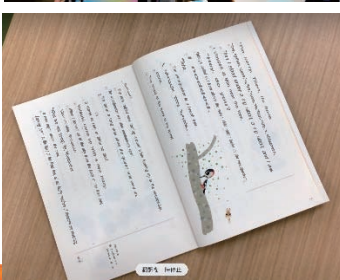
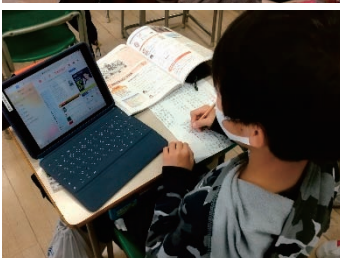
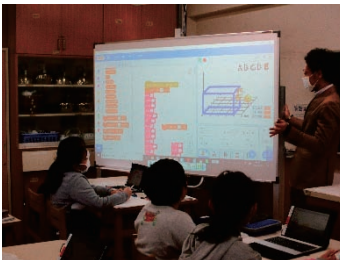
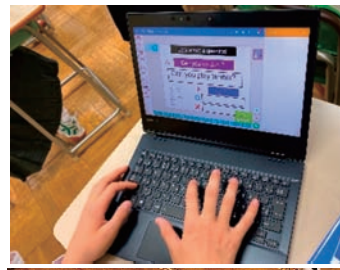
音声や動画、3D などの豊富なデジタル教材の活用により先生たちの授業がよりわかりやすいものになります。例えば、これまで苦手なお子さんにはわかりにくかった図形の展開図も、図形を切り開く様子が一目でわかるようになります！

06



自動翻訳機能の活用

翻訳機能のあるアプリケーションを使って、リアルタイムで多言語に翻訳することが可能になります。まだ日本語を習得していない外国籍のお子さんともスムーズにコミュニケーションをとることが可能になります。



家庭での学びが変わる！

07



学習用コンテンツの活用

iPad でクラウド上の電子ドリル教材を活用して、家庭学習に取り組むことができるようになります。また、クラウド上にある授業動画を活用することで、学校の勉強の予習や復習にも取り組むことができます！

08



宿題の提示や提出

Microsoft 社の Teams やクラウド上にある学習支援ツールを活用して、宿題を受け取ったり、提出したりすることが可能になります。先生から今日の宿題がオンラインで送られてくるかもしれません。

09



不登校対応

不登校児童・生徒にオンライン授業を個別に実施することができるようになります。もちろん、1時間目から6時間目までというわけにはいきませんが、個別につながって課題の実施状況を確認することも可能になります。

家庭と学校とのつながり方が変わる！

10



配布物の電子化

学校からの配布物を電子データで受け取ることが可能になります。例えば、お子さんの端末で、学校だよりのデータを受け取って保護者が閲覧することもできます。iPad の活用でペーパーレス化を進めることができます。

11



面談のオンライン実施

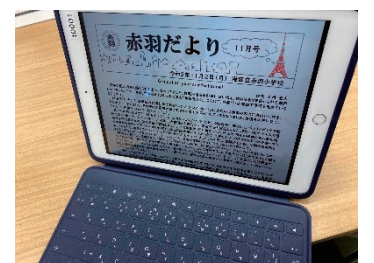
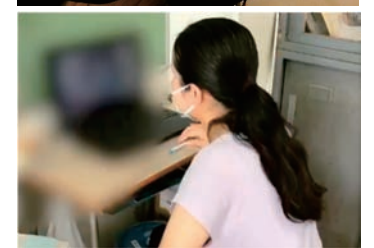
Microsoft 社の Teams を活用して保護者と面談することができるようになります。個別にオンラインでつながることで、お子さんの学校での様子を先生から聞くことができます。

12



オンライン保護者会の開催

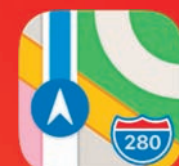
遠隔地からでもオンラインで保護者会等に参加できるようになります。これまで、都合がつかずに参加できなかった保護者会にオンラインで参加して、学校の様子を把握できるようになります。



タブレット端末で変わる学校の未来

WED

28



77%